

第1回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原西高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月11日(火) 13:30~14:40
- 3 開催場所 各務原西高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	長谷川哲也	岐阜大学教育学部准教授
委 員	石垣 時広	児童館館長
	古田 宏司	十六銀行各務原支店支店長
	波多野達也	各務原市役所商工振興課課長
	佐溝 安子	行政書士
	阪納 由香	公認心理士
	阿部 雄介	PTA会長
	黒田 晴代	卒業生 (欠席)
	横前三香子	PTA副会長 (欠席)
学 校 側	杉江 祐子	校長
	川瀬 隆	教頭
	棚橋由美子	事務長
	原 和幸	教務部長
	淵上 隼一	生徒指導部長
	安藤 桂子	進路指導部長
	林 えり	特別活動部長
	山本 通広	探究部長
	山本 晃久	教務副部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営協議会の会長の選出について

校長が長谷川委員を推薦し、全会一致で承認された。

(2) 教育指導の重点及び学校経営計画について

全会一致で承認された。

(3) 各委員より

意見1：一人ひとりをリーダーとして育てていくために、学校としてどのようなはたらきかけをされているか。リーダーシップを養うために、何か取り組んでいることはあるか。

⇒本校には、中学校時代に一步踏み出せないでいた、という生徒が多く在籍している。生徒会などを対象としたリーダー研修を行っているが、フラットな層の中からリーダーを育成していくという意味において、少しずつ段階を踏まえて育てていく必要があると考えている。

意見2：ボランティア活動に取り組んでいる生徒はどれくらいいるのか。外部とつながっていく活動は大切である。

⇒コロナが第5類になってから少しずつボランティア等の案内が増えてきた。本校では青桜クラブがボランティア活動に取り組んでおり、7月には20名ほどの生徒が「親子ふれあいフェスタ」に参加する。

意見3：高校生活の中で、探究する姿勢を育むことは大切である。

意見4：地域の形成者として育てることも大切だと考える。同時に、市外からの生徒も多く在籍しているが、この観点から各務原市だけでなく、広く国内や国外にも羽ばたけるような生徒を育成していくとよい。

意見5：市職員の立場から、若い人の市外流出は避けたいので、近隣大学への進学をお願いしたい思いもあるが、一方で、商工の観点から新卒者の約3割が就職活動のミスマッチにより退職しているデータを踏まえると、市内に残ってもらうことだけを優先する指導方針が良くない結果につながることも容易に想像される。難しいテーマだが、学校にはバランスよく指導していただきたい。

意見6：生徒の様子として、明るく楽しそうなストレスを感じない学校生活を送っているように感じた。また、生徒と教員との心理的な距離が近い印象を受けた。

意見7：新入社員と触れ合う中で、デジタル化が進む中であってもコミュニケーション能力の重要性は変わらないように感じている。他者と適切にコミュニケーションすることのできる人材は自ら成長するだけでなく、周囲も成長させることが期待できるという点をおさえるとよい。

意見8：本校の生徒には、各務原市に存在する学校としてローカルな視点をもつとともに今後の社会を形成する人物としてグローバルな視点をもつことの双方が求められている。「グローバルな視点」を育んでいただきたい。

6 会議のまとめ

- ・今後の学校運営について、各委員より貴重なご意見を頂戴した。